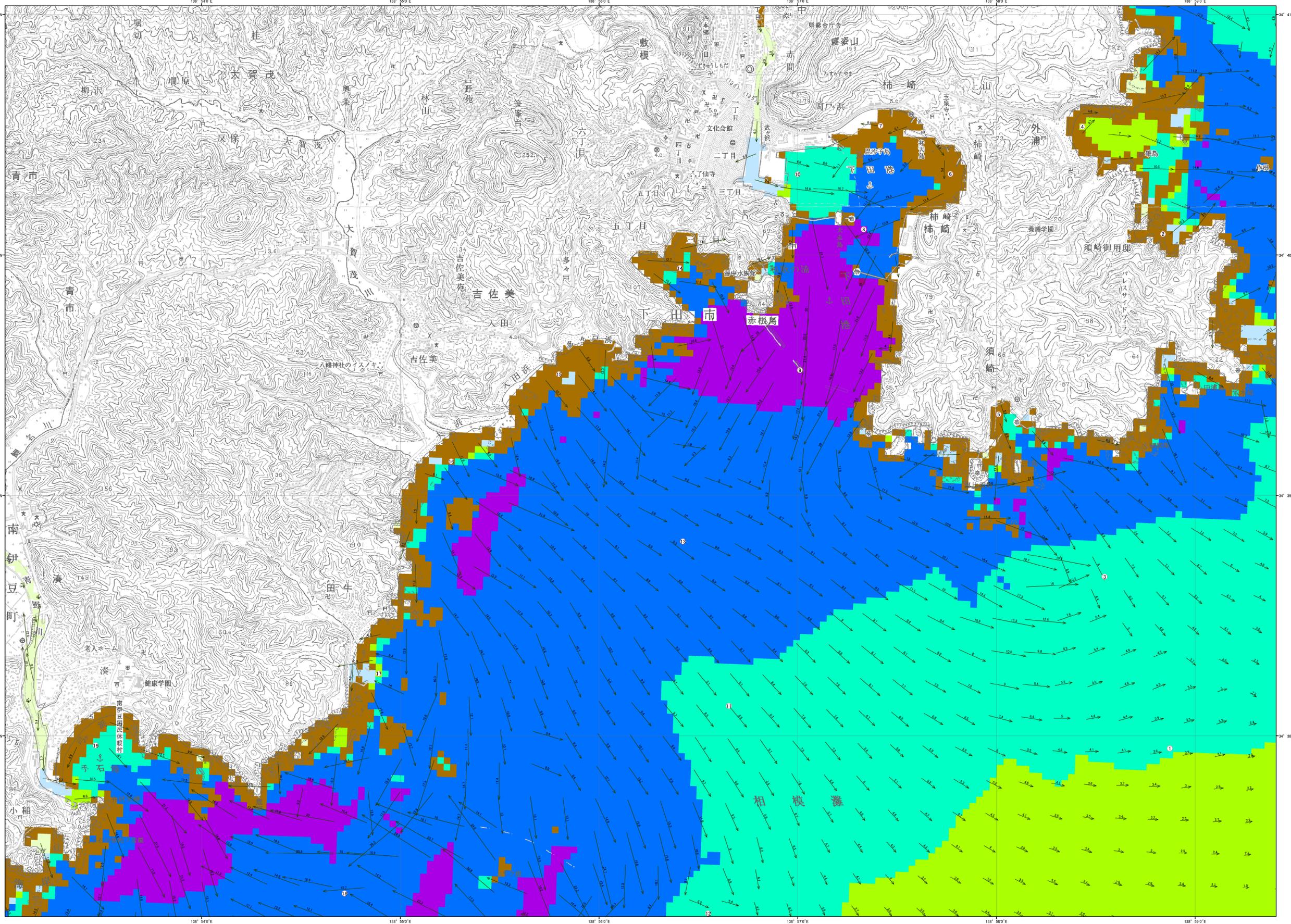


# 下田港 津波防災情報図（引潮図）

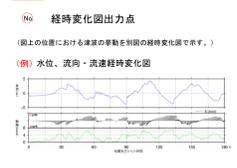
計算条件：最低水面（零位）  
 隆起量：平均 -3cm (-5cm ~ -1cm)  
 Zo：1.01m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)

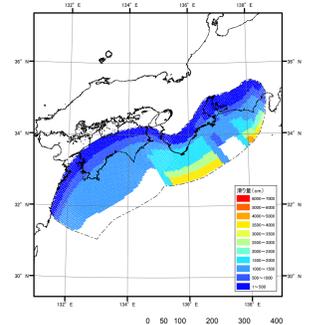
## 凡例

- 最大水位低下
- 20~最大20.5m
  - 10~20m
  - 5~10m
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
  - 露出域



○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

## 断層モデル



ケース①「駿河湾～愛知県東部沖と三重県南部沖～徳島県沖に『大すべり域』を想定」

断層面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.2 X 10 <sup>27</sup>
平均すべり量 D (m)	10.4
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

